



(京都府京都市)

イチョウ (堀川通)

京都市内を南北を結ぶ堀川通。

この通りの上京区の堀川今出川から北区の堀川紫明
辺りまでの中央分離帯には、約1kmのイチョウ並木があり、
初冬（11月下旬から12月中旬あたり）になると黄色く
きれいに色づいた並木道は、小さな公園となっている部分
もあり、市民の憩いの場となっています。

また、多くの車が走る都会の道路で、大きな銀杏の実
を収穫できるスポットとしても有名です。

◆◆ 主な内容 ◆◆

インフォメーション

- 統計情報 作物統計調査 令和6年産水稻の作付面積及び10月25日現在の予想収穫量（近畿）
- 第11回ディスカバー農山漁村（むら）の宝」地域の活性化や所得向上の優良事例地区が決定！
- 近畿農政局「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」（第8回）の優良事例地区を選定しました！

【農政局からのお知らせ】

- 令和6年度国内肥料資源の利用拡大セミナー及び情報交換会の参加者募集！
- 今月のBUZZMAFFとなりの近畿～ナニソレ？こんなほんまにあるんや～、～ジャパンミートフェスティバルin加古川で和牛ケーキを作ってみた！！～

トピックス

- 農産物の環境負荷低減の取組の「見える化」を基礎から学べる研修会を開催します！（近畿地区）

公式SNS



← 農林水産省公式Facebook、X（旧Twitter）及びYouTubeは、近畿農政局ホームページからもアクセスできます。

新鮮mini情報のバックナンバーは、「近畿農政局 ミニ情報」で検索できます。

統計情報



作物統計調査 令和6年産水稻の作付面積及び 10月25日現在の予想収穫量（近畿）

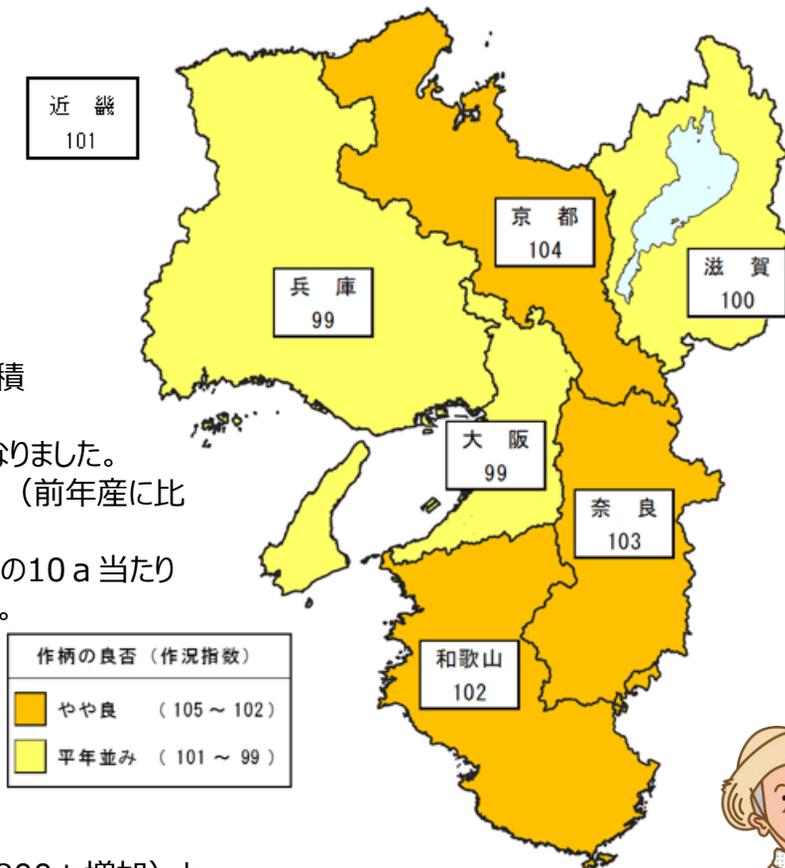


調査結果の概要

近畿の令和6年産水稻の作付面積（子実用）は94,000ha（前年産に比べ700ha減少）となりました。うち主食用作付面積は90,600ha（前年産に比べ600ha減少）となりました。また、10月25日現在における水稻の10a当たり予想収穫量は507kgと見込まれます。

以上の結果、予想収穫量（子実用）は47万6,900t（前年産に比べ800t増加）と見込まれます。

このうち、主食用の予想収穫量は45万9,600t（前年産に比べ1,800t増加）と見込まれます。



年産	作付面積 (子実用)	10a当たり 収量	収穫量 (子実用)	主食用 作付面積	収穫量 (主食用)	作況指数
	ha	kg	t	ha	t	
平成26年産	108,000	497	537,100	104,500	519,900	98
27	105,800	508	537,200	101,900	517,700	100
28	104,500	516	538,700	100,500	519,000	102
29	103,200	510	526,600	99,400	507,000	100
30	103,100	502	517,500	99,500	498,700	98
令和元	102,600	503	516,400	99,000	498,000	99
2	101,300	490	496,000	97,700	478,000	96
3	99,300	503	499,700	95,700	481,800	99
4	96,400	517	498,400	92,800	479,500	102
5	94,700	503	476,100	91,200	457,800	100
6 (概数值)	94,000	507	476,900	90,600	459,600	101

資料：農林水産省統計部『作物統計』

近畿農政局ホームページ

<https://www.maff.go.jp/kinki/toukei/index2.html>



【お問合せ先】

近畿農政局 統計部 生産流通消費統計課

担当：仲野

TEL:075-414-9650

ディスカバー農山漁村の宝

～地域の活性化や所得向上の優良事例30地区が決定！～
近畿地区から2地区が選定されました

農林水産省は「強い農林水産業」、「美しく活力ある農山漁村」の実現を推進しています。「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」は、農山漁村の地域資源を引き出すことにより地域の活性化や所得向上に取り組んでいる優良な事例を優良地区として選定・発信し、他地域への波及を図る取組です。

農林水産省及び内閣官房は、令和6年11月25日（月曜日）に林内閣官房長官出席の下、総理大臣官邸で開催された「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」（第11回選定）有識者懇談会において、地域の活性化や所得向上に取り組んでいる優良事例30地区を選定し、このうち特に優秀な事例については、グランプリ及び優秀賞として決定しました。

第11回選定のグランプリ及び優秀賞

グランプリ	コミュニティ・地産地消部門
ほっかいどうほろかないこうとうがっこう 北海道幌加内高等学校	うりゆうぐんほろかない ちよう （北海道雨竜郡幌加内町）

優秀賞	コミュニティ・地産地消部門	優秀賞	コミュニティ・地産地消部門
えんのう ひろさき援農プロジェクト	ひろさまし （青森県弘前市）	ぐんまけんりつおぜこうとうがっこう 群馬県立尾瀬高等学校	ぬまたし・とねぐんかたしなむら （群馬県沼田市・利根郡片品村）
優秀賞	ビジネス・イノベーション部門	優秀賞	個人部門
かぶしきがいしゃ 株式会社エース・クリーン	きたみし （北海道北見市）	なかみ ひかり 中上 光	おきぐんにしのしまちよう （島根県隠岐郡西ノ島町）

17 もりやま食のまちづくりプロジェクト

「食」と「農水」をテーマに地域活性化を図る。

コミュニティ・地産地消部門

地産地消

伝統の継承

食育・教育

滋賀県 守山市

【概要】

- 年間1,000名程の人口増加が続き、特に子育て世代から「安全・安心」な農水産物を食べさせたいニーズがあった。
- また、食の安全を脅かす出来事、生活習慣病による健康不安等が増加。
- 食と農水産物を中心とした「もりやま食のまちづくりプロジェクト」を立ち上げ、「新鮮な農水産物の地産地消」、「次世代を担う新たなブランド化の推進」などの活動を行う。地区で養殖している淡水真珠の貝殻をパール灰として肥料に使用し、生産した野菜を「もりやまびわ湖パール野菜」としてブランド化に成功。

【成果】

- 令和5年度には、パール灰を利用した野菜の品目数は10種類で、生産量は5tと毎年増加している。また、地産地消の推進として市内学校給食への納入量も増加し、令和5年度の給食出荷金額は178万円の売上となり、子供たちに安全安心な野菜を提供している。
- 産業廃棄物だった貝殻を燃焼処理して肥料と使用することで、環境循環型農法としてSDGsの取組に準じていることから新たな販路を開拓。また、漁業と農業が織りなす「琵琶湖システム」として取り組む本地域においてパール灰の使用で農業者の琵琶湖漁業への理解が深まった。



パール野菜 ブロッコリー収穫体験



パール野菜給食



もりやまびわ湖パール

18 宇陀市古民家活用地域活性化協議会

あなたの中にある、なつかしい未来へ。

ビジネス・イノベーション部門

農業

6次産業化

伝統の継承

奈良県 宇陀市

【概要】

- 過高齢化等により空き家が増加。
- 空き家の目立つ「八通地区」において産官民の賛同者を募り、地域住民、地元の民宿、飲食店、観光農園、古民家再生協会の参画で活動を開始。「農山村滞在型旅行」を受け入れ、里山の自然を中心としたサステナブルな地域社会での滞在を提供するオーベルジュ「うだ薬湯の宿 やたきや」を開業。クラウドファンディングなども活用し、建物周辺のランドスケープを整備。

【成果】

- 「オール宇陀」をテーマとして、やたきやの従業員等は全て宇陀市民を採用、やたきやで提供する食材も宇陀市内で調達できるものを取り揃えるなど、地域の雇用創出や経済効果を生み出し、令和5年度には741人の宿泊者、4,800人の来場者が訪れる。
- 令和4年度から地域資源を観光コンテンツとして活用した商品の開発に着手。10種類近くのオリジナル商品を開発し、自社サイトやECと併せて道の駅やカフェなどと連携しながら販売。販売個数は3,000個を超える。



名所を巡るe-bikeツアー



商品試食・販売大会



農園体験イベント

農林水産省ホームページ

<https://www.maff.go.jp/j/press/nousin/nousei/241125.html>



【お問合せ先】

農村振興局農村政策部農村計画課
農村活性化推進室 担当者：浅野、岩谷、細川
TEL：03-3502-6001

近畿農政局「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」(第8回)の優良事例8地区を選定しました!

農林水産省及び内閣官房は、「強い農林水産業」、「美しく活力ある農山漁村」の実現に向けて、農山漁村の地域資源を引き出すことにより地域の活性化や所得向上に取り組んでいる優良な事例を「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」(第11回選定)として選定しました。

近畿地区から応募のあった事例には、今回選定された取組以外にも優れた取組があることから、近畿農政局「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」(第8回)として独自に選定し、全国へ発信します。

ビジネス・イノベーション部門				
No.	府県	市町村	地区名	取組の概要
1	京都府	南山城村	株式会社南山城 お茶スイーツ	株式会社南山城は、道の駅整備計画をきっかけに一次産業を支える地域商社として設立。道の駅お茶の京都みなみやましろ村を第3セクターで運営。日本茶高級ブランド宇治茶の産地として、日本茶をはじめとしたお茶の加工品をブランド化し製造・販売。新たな雇用を生み出し、南山城村に年間5.8万人の来訪者と呼び込む。 道の駅はむらづくりの拠点となり、生産意欲の向上に伴う売上の拡大により、南山城村に株主配当を行うとともに指定管理費ゼロを実現している。
2	大阪府	豊能町	株式会社里山創生研究所 ワイナリー	株式会社里山創生研究所は、棚田の再生や捕獲した有害鳥獣の利活用といった地域課題の解決にあたり、農家宿レストラン経営を軸として、ジビエの食肉処理加工やワイナリー事業を展開。 事業に取り組むにあたり、地域住民や都市住民等の様々な参加者も巻き込み、地域活性化に貢献。これらの取り組みが、都市住民にとっては食育の機会や魅力のある体験となり、都市農村交流の拡大につながるなど、取組の持続性が確保されている。
3	兵庫県	多可町	株式会社多可町地域商社 RAKU カフェと宿泊スペース	株式会社多可町地域商社 RAKU は、「地域に賑わいを創る」を理念に多可町の100%出資法人として設立。 生産者と密着しながら、ふるさと納税や特産品の開発・販路の拡大を行い、地域内外で販売金額を増加。 また、「働く」「住む」を簡易に体験できるプランやオーダーメイド型ツアーを開発し、外部人材の受入や雇用定住を実現するとともに、多可町ファンクラブの構築や都市圏でのイベントによる情報発信などにより、関係定住人口のさらなる獲得に取り組んでいる。
4	奈良県	曾爾村	一般社団法人曾爾村農林業公社 規格外トマトを使ったトマトソース	一般社団法人曾爾村農林業公社は、基幹産業の農林業の衰退により人口減少が急速に進む中、農林業を魅力化し後継者を育てることを目的に官民連携組織として平成28年に設立。 これまで、農産物のブランド化、新規就農者の販路サポート、農地の維持管理の仕組みの構築、地域資源を生かした商品開発等の様々な取組を進めた結果、多様な農業を志す移住者の増加や、既存住民の転出抑制などの効果が発現されている。
5	和歌山県	北山村	株式会社じゃばらいず北山 じゃばら商品ライナップ	北山村は「全国唯一の飛び地の村」であり、村の97%を山林が占める自然豊かな人口400人程度の小さな村である。 古来より北山村でのみ自生していた柑橘系果実「じゃばら」が、花粉症に効果があるかもしれないと多くのマスコミに取り上げられたことで飛躍的に人気が高まった。 株式会社じゃばらいず北山は、令和元年に北山村直営事業を継承し100%出資で創業。民間ならではの強みを生かし、大手製菓会社への原料供給や海外への輸出など、事業の拡大により雇用が増加。栽培・加工・輸出までを村民一体で取組み、観光誘致など更なる地域活性化に向けた展開を進めている。
コミュニティ・地域経済部門				
No.	府県	市町村	地区名	取組の概要
6	滋賀県	栗東市	明日の走井を考える会 シンボルとなった早乙女衣装	深刻な過疎化で集落の存続が危機を迎える中、のちに役員となる4名が検討を開始。自治会のサブ組織として「明日の走井を考える会」を立ち上げ、集落に人を呼び込むことで活性化しようという活動を開始。 紫陽花を植樹した「アジサイロード」を整備し、明るく彩られた景観を集落内外の人々に提供。 自分達だけではできないことを大学や企業などの構成員の努力やボランティアの協力を得ながら、荒廃した棚田を再生するとともに、田植え、稲刈りなどの農業体験や収穫祭、伝統行事体験など地域資源を活かした様々なイベントを開催することで交流人口を増加させ、集落の活性化を実現している。
7	兵庫県	市川町	NPO法人棚田LOVERS 400年前から続く活動拠点の棚田	NPO法人棚田LOVERSは、後継者不足等により「あと5年で集落内の棚田はなくなる」と地域の危機感に共感し活動を開始。 米作りや自然観察等の体験活動により、参加する子どもたちは自然の中で多くのことを学びながら、逞しく成長している。 棚田フェスや若者交流会等の活動を継続し、参加者や活動連携団体は毎年増加。14名の若者が移住。 棚田の保全と棚田を守る将来世代の育成に向け、信念と覚悟を持って活動を継続している。
個人部門				
No.	府県	市町村	地区名	取組の概要
8	京都府	亀岡市	中川 元宏 従来とは異なり、雑草を春まで放置して長く伸ばし浅く鋤倒して乾燥させる	中川元宏氏は、亀岡市において令和2年にJAS認証を取得し、無農薬無化学肥料の自然栽培方法を独自で開発・実践。 また、亀岡市と連携して亀岡オーガニック農業スクールで実習指導を行うなど、社会貢献活動に努めている。

【お問合せ先】

近畿農政局ホームページ

<https://www.maff.go.jp/kinki/press/keikaku/nousonshinkou/241125.html>



近畿農政局 農村振興部 都市農村交流課
担当者：楠本、奥、小原
TEL：075-414-9065

農政局からの お知らせ

◆令和6年度国内肥料資源の利用拡大セミナー 及び情報交換会の参加者募集！

近畿農政局では、12月13日(金曜日)に、「国内肥料資源の利用拡大セミナー及び情報交換会」を以下のとおり開催し、肥料関係事業者による国内肥料資源を活用した取組等を紹介するセミナー及び肥料関係事業者間の連携づくりや会場内に事業者ブースを設け、出展希望事業者の国内資源の活用に向けた取組の展示(資料、見本品等)をし、会場参加された肥料関係事業者との情報交換を行いますので、ぜひ会場にお越しください。

主催:近畿農政局

令和6年度国内肥料資源の利用拡大 セミナー及び情報交換会 (参加者・出展者募集中！)

我が国の肥料は、その原料の多くを海外に依存していることから、国際市況や原料産出国の輸出に係る動向の影響を強く受けざるを得ない状況にあります。肥料を生産現場に安定的に供給していくためには、海外からの輸入原料に依存した肥料から、堆肥や下水汚泥資源等の国内資源を活用した肥料への転換を進め、肥料製造事業者、肥料供給事業者、肥料利用者が増え、これらの肥料やその原料の供給又は利用を拡大していく必要があります。

このため、「国内肥料資源の利用拡大セミナー及び情報交換会」を開催し、肥料関係事業者による国内肥料資源を活用した取組等を紹介するセミナー及び肥料関係事業者間の連携づくりや情報交換を行います。

- 日時:令和6年12月13日(金曜日) 13時~16時30分
- 場所:大阪合同庁舎1号館 第1別館 2階 大会議室
(住所:大阪市中央区大手前1丁目5-44)
- 開催方法:会場開催(100名)、オンライン開催(セミナーのみ200名)
- 開催内容

- (1)セミナー(13時~14時30分)
- ア. 国内肥料資源に関する研究者からの情報提供
国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 九州沖縄農業研究センター 研究推進部技術適用研究チーム チーム長 荒川 祐介氏
『国内有機性資源の肥料化とその利活用』
- イ. 肥料関係事業者の取組に関する事例発表
・清和肥料工業株式会社 生産購買本部 生産本部長 吉田 匡氏
『食品残渣堆肥を利用した環境循環型肥料への取組』
・滋賀県 琵琶湖環境部 下水道課 副主幹 中島 有希子氏
『滋賀県における下水汚泥コンポスト化の取組みについて』

- (2)情報交換会(14時30分~16時30分)
- 会場内に事業者ブースを設け、出展希望事業者の国内資源の活用に向けた取組の展示(資料、見本品等)をし、会場参加された肥料関係事業者との情報交換を行います。(20ブース程度)

- 参加申込みは、近畿農政局HPから
(<https://www.maff.go.jp/kinki/press/kankyo/241101.html>)
申込締切:①会場参加、オンライン参加 12月6日(金曜日)17時まで
②出展参加 11月29日(金曜日)17時まで

申込みはこちら

(※)セキュリティの都合などから、上記URLから申込みができない場合は、担当までお問い合わせください。



お問合せ先 近畿農政局 生産部 環境・技術課 担当:森岡、関、奥田
電話:075-414-9722(直通) e-mail:kinki_shizai@maff.go.jp

農林水産省

ご来場の際は、公共交通機関をご利用ください。

地下鉄谷町線

「天満橋」駅

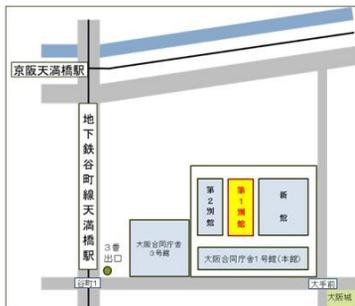
3番出口から徒歩約3分

京阪本線「天満橋」駅東口から

徒歩約5分

本館の入館手続きは不要です。

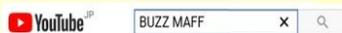
直接、第1別館へお越しください。



©2019 農林水産省

役々関初！官僚系 YouTuber 誕生

YouTubeで近畿の魅力 発信中



「となりの近畿」 ナンソレ? こんなん、ほんまにあるんや?! うわさの自販機を高槻で見つけた!

住所:〒602-8054
京都市上京区西洞院通下長者町下る丁子風呂町
電話:075-451-9161(代表)

その他にも
チャンネル
いろいろ

近畿農政局

農林水産省

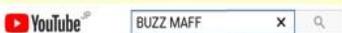
新作
動画



©2019 農林水産省

役々関初！官僚系 YouTuber 誕生

YouTubeで近畿の魅力 発信中



「となりの近畿」 ジャパンミートフェスティバルin加古川で和牛ケーキを作ってみた!!

住所:〒602-8054
京都市上京区西洞院通下長者町下る丁子風呂町
電話:075-451-9161(代表)

その他にも
チャンネル
いろいろ

近畿農政局

農林水産省

YouTubeで公開中です！

右の二次元コードを読み取り、ご覧ください。
(近畿農政局ホームページ)

<https://www.maff.go.jp/>

[kinki/photo/kekka/video/b10.html](https://www.maff.go.jp/kinki/photo/kekka/video/b10.html)





農産物の環境負荷低減の取組の「見える化」を基礎から学べる研修会を開催します！（近畿地区）

見る × 選べる
みえるらべる

～「みえるらべる」で環境にやさしい農産物をPRしませんか？～

1.概要

農林水産省は、「みどりの食料システム戦略」に基づき、持続可能な食料システムを構築するため、生産者の温室効果ガス削減や生物多様性保全に貢献する環境負荷低減の取組を評価し、星の数で分かりやすくラベル表示して消費者に伝える「見える化」の本格運用を本年3月に開始し、推進しています。

ラベル（愛称：みえるらべる）を表示した商品を販売する店舗等は、小売店や飲食店、オンライン販売などのべ570箇所を超え、多様な業態で取組が広がっています。

今般、「見える化」の更なる拡大を図るため、生産者、流通・小売事業者、JA・地方自治体職員等を対象とした研修会を開催します。研修会では、「見える化」に必要な温室効果ガスの排出・吸収量や生物多様性保全の取組を評価・表示する方法を解説するほか、「見える化」に取り組んでいる事業者から、取組を始めたきっかけや取り組んで良かったこと等をお話いただく予定です。

2.開催日時及び会場

農産物の環境負荷低減に関する評価・表示ガイドライン抜粋

日時：令和6年12月18日（水曜日）13時30分から15時まで

会場：近畿農政局第1会議室（京都府京都市上京区西洞院通下長者町下る丁子風呂町）

Web会議システムを通じての参加も可能です。

※参加申込方法等の詳細は、下記ウェブページをご参照ください。

参加申込URL：https://questant.jp/q/ws_in_kinki（外部リンク）

「農産物の環境負荷低減の取組の「見える化」研修会」
運営事務局

担当：株式会社NTTデータ経営研究所高橋、赤松

E-mail：afunowa@nttdata-strategy.com

※お問合せの際は、上記メールアドレスの★を@に置き換えてください。

3.研修会の内容



(1) 農産物の環境負荷低減の取組の「見える化」概要説明

(2) 「見える化」に取り組む事業者からの事例紹介

(3) 温室効果ガスの排出・削減量と生物多様性保全の取組の算定シートの入力方法の解説・演習

(4) 質疑

農産物の環境負荷低減の取組の「見える化」については、下記ウェブページをご参照ください。

参考URL：農林水産省HP 見つけて！農産物の環境負荷低減の取組の「見える化」～温室効果ガス削減への貢献と生物多様性保全への配慮～

https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/being_sustainable/mieruka/mieruka.html

※ 研修会の詳細は、以下のホームページをご覧ください

近畿農政局ホームページ

<https://www.maff.go.jp/kinki/press/kankyo/241030.html>



【お問合せ先】

近畿農政局 生産部 環境・技術課

担当者：林、秋田

TEL：075-414-9722



農林水産省近畿農政局

近畿農政局 HP →



企画調整室 〒602-8054 京都市上京区西洞院通下長者町下る丁子風呂町

TEL(075)451-9161

滋賀県拠点 〒520-0044 大津市京町3-1-1 大津びわ湖合同庁舎6F

TEL(077)522-4261

京都府拠点 〒602-8054 京都市上京区西洞院通下長者町下る丁子風呂町

TEL(075)414-9015

大阪府拠点 〒540-0008 大阪市中央区大手前1-5-44 大阪合同庁舎1号館6F

TEL(06)6943-9691

兵庫県拠点 〒650-0024 神戸市中央区海岸通29 神戸地方合同庁舎4F

TEL(078)331-9941

奈良県拠点 〒630-8113 奈良市法蓮町387 奈良第3地方合同庁舎3F

TEL(0742)32-1870

和歌山県拠点 〒640-8143 和歌山市二番丁3 和歌山地方合同庁舎5F

TEL(073)436-3831

近畿農政局
メールマガジン

